

科目名	外国語 1							年度	2025
英語科目名	Foreign Language 1							学期	前期
学科・学年	コンサート・イベント科 1 年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	江原直子		教員の実務経験	有	実務経験の職種		英語、英会話教師		
【科目の目的】 英語基礎文法を復習しながら、実際にそれを使いこなせるようにスピーキングの練習を多く設けてコミュニケーション力を養う。英会話の楽しさを感じ、日常生活の中で、また社会に出た際に英語を使える土台作りを行う。									
【科目の概要】 『外国語』は、英語の基礎構造を理解し、今までに培った文法力、語彙力を基に、実際に日常の中で使える英会話能力を向上させる。また洋楽や洋画を通して、学生たちが英語への関心を高め・学ぶ意欲を促進させる。									
【到達目標】 A 英語の基礎構造を理解・習得 ー 英語で正確に出来事を伝える、まとめて文章にすることができる。 B 英会話力を養うー 理解したことを英語でアウトプットでき、リスニング力を高めながら会話を行うことができる。 C 英語への関心を持ち、積極的に英語を使いながらコミュニケーションを取る意欲を養う。									
【授業の注意点】 授業時限数の4分の3以上出席しない学生は、定期試験を受験する事ができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	英語の構造を理解し文章を正確に組み立てることができる		英語の構造を大まかに理解し文章を組み立てることができる		英語の構造を理解していない故、文章を組み立てることが困難である				
到達目標 B	正しい英語で自分の意思を伝えながら、相手と会話ができる	相手と意思疎通が出来る、英語で会話ができる	相手と意思疎通ができる程度の英語で会話ができる	単語をいくつか使いながら、英語で会話ができる	会話を英語で行うことが出来ない				
到達目標 C	英語を学ぶ意欲・関心が高く、自らコミュニケーションを英語で取ろうとする意欲がある		英語への関心を持ち、相手とコミュニケーションを取る意欲を持っている		英語を学ぶ意欲が低く、相手とのコミュニケーションを取ろうとしない				
【教科書】 適宜プリントを配布する									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 期末試験、授業課題									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		外国語 1			年度	2025
英語表記		Foreign Language 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション・名詞の疑問文	英語と日本語の構造の違いを理解し、名詞のWH疑問文を作る	1 自己紹介とシラバス解説	授業の目標・主旨を理解する。	3	
			2 日本語と英語の構造の違い	日本語と英語の構造の理解し、自分で文を組み立てることができる。		
			3 重要語句の理解	英語の土台となる重要語句を理解して使うことができる。		
2	冠詞	物・人物について文を作り、会話ができる	1 名詞	可算名詞・不可算名詞を理解し使い分けができる	3	
			2 冠詞 (a / an / the)	冠詞を理解し、正確に使い分け出来る		
			3 職業の英単語	職業の英単語を習得し、会話で使うことができる		
3	場所を表す前置詞	場所に関して文を作り、会話ができる	1 Whereの疑問文	場所に関する英単語を習得し、場所を聞く質問ができる	3	
			2 場所を表す前置詞	場所を表す前置詞を覚え、使いこなすことができる		
			3 Q&A会話練習	場所に関しての会話を行うことができる		
4	大きい位の数	値段に関して文を作り、会話ができる	1 How muchの疑問文	値段を尋ねる際に使う英単語を習得し、質問が出来る	3	
			2 大きな位の数	大きな位の数の読み方を習得し、正確に言うことができる		
			3 Q&A会話練習	値段に関しての会話を行うことができる		
5	形容詞	様々な形容詞を理解し、人や物の状態に関して会話できる	1 How の疑問文	人・もの等の状態を尋ねる際に使う英単語を習得し、質問が出来る	3	
			2 形容詞の使い分け	実用的な形容詞を正確に使い分けできる		
			3 Q&A会話練習	How を使って会話を行うことができる		
6	時を表す前置詞	時を表す語に関して文を作り、正しく前置詞の使い分けができる	1 When の疑問文	時を表す疑問文を正確に聞くことができる	3	
			2 時を表す前置詞	時を表す前置詞の使い分けを理解し、使える		
			3 Q&A会話練習	時に関しての会話を行うことができる		
7	所有代名詞	Whoseを使った文のQ&Aを理解する。	1 Whoseの疑問文	Whoseを使って正確に質問を作ることができる	3	
			2 所有代名詞	所有代名詞を理解する		
			3 Q&A会話練習	Whoseを使って会話を行うことができる		
8	数量を表す副詞	How many/ How muchを使った文のQ&Aを理解する。There is構文の使い方を理解する	1 How many/How muchの疑問文	How many / How much の使い分けができ、数量を聞くことができる	3	
			2 数量を表す副詞	数量を表す副詞を習得する		
			3 Q&A会話練習	How many / How muchを使って会話を行うことができる		
9	映画①	洋画を通して英語を学ぶ①	1 会話表現	日常でよく使われる会話表現、フレーズを学び、習得する	3	
			2 リスニング	映画の内容を使ってリスニング力を高める		
			3 興味関心	映画を通して、英語への興味・関心を高める		
10	映画②	洋画を通して英語を学ぶ②	1 会話表現	日常でよく使われる会話表現、フレーズを学び、習得する	3	
			2 リスニング	映画の内容を使ってリスニング力を高める		
			3 興味関心	映画を通して、英語への興味・関心を高める		
11	Why	Whyを使った文のQ&Aを理解し会話ができる	1 Why の疑問文	Whyを使った文の語順を理解し、理由を尋ねる質問を作ることができる	3	
			2 WHの総復習	これまで学んだWHを復習し、正確に文を作る		
			3 Q&A会話練習	Whyを使って会話を行うことができる		
12	Yes/ No 疑問文	Yes, No 疑問文を理解し、会話ができる	1 Yes / No 疑問文	名詞に関する Yes / No 疑問文を作ることができる	3	
			2 名詞の文章のまとめ	名詞に関する文章を正確に組み立てることができる		
			3 Q&A会話練習	名詞に関するQ&Aを行うことができる		
13	一般動詞と前置詞	一般動詞を学び、前置詞を理解する	1 be 動詞と一般動詞	be動詞と一般動詞の違いを理解し文を作る	3	
			2 前置詞	動詞と使う前置詞を習得し、使うことができる		
			3 Q&A会話練習	一般動詞に関するQ&Aを作ることができる		
14	4つの時制	一般動詞の4つの時制を使い分けできる	1 4つの時制の理解	現在形、現在進行形、未来形、過去形の構造を理解する	3	
			2 肯定文と疑問文	肯定文・疑問文の作りを理解し、正しく文に出来る		
			3 Q&A会話練習	4つの時制を使ったQ&Aで会話ができる		
15	前期まとめ	これまでの講義の要点を復習	1 名詞の文の復習	前期に学んだ名詞に関する文章の復習	3	
			2 動詞の文の復習	前期に学んだ動詞に関する文章の復習		
			3 総復習	練習問題を解きながら試験対策を行う		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等